

# 広報 ふじかわ

1月号

昭和50年1月1日発行

No. 169

## 町のメモ

昭和49年12月1日現在

人口	16,266人
増減	先月より + 12人
男	8,041人
女	8,225人
世帯数	3,866世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画課



## はやく食べたいなァー!

### 子どもたちのもちつき大会

「もちをつくって大変だなァー!」昨年の暮れの十二月二十二日、子どもたち約三百人が宇多利児童館に集まり「もちつき大会とお飾りづくり」を楽しみました。

年々もちつきをする家庭が少なくなり、また、正月のしめ飾りをつくれる人が減少した昨今古き良き時代をしのぶとともに親子で一日を楽しみながら、子どもたちには「手づくりの良さを味わってもらおう」と同児童館が開いたものです。

当日は、児童館母親クラブや子ども会世話人会等の協力により、あらかじめ用意されていたふかしたもち米を、子どもたちももちつき。なれない手つきでそれでも十四うすつき上げました。つき上った温かいもちは、早速子どもたちの胃袋におさまって、満足そうでした。

一方、宮町のお年寄りの指導でしめ飾りづくり。わらをほぐしたり、あんだりして、親子で一生涯命取り組み、それでもウラジロやだいたいをつけて一応完成「うまくできましたしょう」と批評し合っていました。

この日の児童館は、もちつきとしめ飾りづくりでにぎわい、年の瀬のあわただしい一日を親子そろって楽しんでいました。

# なお続く総需要抑制の中で

## 明るい町づくりにも全力を注ぎます

### 年頭にあたり 中川町長語る



中川国兵町長

昭和五十年の新春を迎え、初陽に映える富士の秀峰を仰ぎつつ、皆様と共に日本の弥栄と富士川町の発展を祈念し、町民各位の御繁栄と御健勝をお祈りいたします。

顧みますと、昨年は町民憲章の実行目標として「ものを大切にしましょう」を掲げ、当初予算八億六千万円、特別会計を含めて十億六千万円を以て、社会福祉と公益優先を重点とした町政を進めて参りました。

老人医療、ねたきり老人の家庭奉仕員の増員をはじめ、町道富士川由比線、農免道路、都市下水路公営住宅大築増築、二中建設用地買収等が主なもの、広域事業としては、由比町内に青少年野外センターの完成、幹線道路の整備等、政局激動、地方財政の逼迫

の中にあって物価高の苦境に耐えひたすら「明るい豊かな町づくり」に努力して参りました。

しかしながら、昨年七月における豪雨の災害復旧等思わざる出費増を含めて、十二月における現予算額は国保、水道を合わせて十三億二千五百万円の巨額となったのでありますが、総需要抑制という国策の中でこれだけの事業を推進することのできたのは、町議会をはじめ、町各機関、各層の御理解ある御協力によるものと深く感謝をいたす次第であります。

昨年十二月、三木新内閣の誕生によって一応政局の安定は見たものの、インフレ、物価急騰、景気の沈滞は今後も続くものと思われ

ますので、昭和五十年の町財政は益々厳しさを加えることと存じます。

富士川町今後の施策としては、二中危険校舎改築、二小急増対策中央公民館建設用地の取得等教育施設の整備は緊急を要する問題であり、また松野地区簡易水道を町

営水道に統合する問題、富士川富沢線バイパスの促進。北松野ゴルフ場着工に伴う環境整備と山砂利対策。三町共同の衛生プラント増設事業。更には、富士川河川敷の運動場計画等幾多の重要課題をかかえ、町の健全財政を堅持する

## 今年こそは対話のある社会に

### 太田議長、新年を迎えて決意



太田義雄議長

昨年にはまさに、国内的にも、国際的にも大きくゆれ動いた一年でありました。

特に、経済の不況は深刻なものがあり、一九六〇年代より続いた高度成長経済政策は限界に達し、一転、減速経済へ切り替えを余儀

為には、重大な年を迎えたと申さねばなりません。

なお、本年は統一地方選挙の年にあたり、当町においても四月には町議会議員の改選が行なわれ

ます。

私は、年頭にあたって町政執行の決意を新たに、この難局に対処する覚悟であります。町議会をはじめ、町民各位がこの深刻な事態を認識され、拳町一体となつて総力を結集し、難局打破に絶大な御協力を賜りますようお願いをいたして、年頭のあいさつといたします。

私は、年頭にあたって町政執行の決意を新たに、この難局に対処する覚悟であります。町議会をはじめ、町民各位がこの深刻な事態を認識され、拳町一体となつて総力を結集し、難局打破に絶大な御協力を賜りますようお願いをいたして、年頭のあいさつといたします。

なくさせられましたが、今回の不況は過去のそれと性格を異にしているといわれるので、長期化はまぬがれないものと思ひます。

いま国政、地方行政の最大の課題は、この不況を克服して如何に行政の成果をあげるか、住民の要望にどうしたら応えられるかを工夫し、改善し、努力することであり

ます。

町で計画されている主な事業は中川町長より報告されているので省かせていただきますが、それら

「子供は親の後ろ姿を見て導かれる」という。親が自分なりに一つの信念と行動を以って、社会人としての責任を果すが、子供に対する最大の教育であり、これは視覚による対話であります。

私は、愛情のこもった対話を行政の場で、地域社会の中で実行していけば、すばらしい生々とした街づくりが出来るものと確信して今年の信念を貫きたいと思ふ次第です。

# 二中校地取得費など 1億8393万円を補正

## — 12月定例議会 —

町議会十二月定例会は、昨年の十二月十九日に役場議場で開催され、一般行政報告、一般質問の答弁を皮切りに請願、陳情についてはそれぞれの常任委員会に付託した後、四十八年度一般会計決算、四十九年度補正予算など十六件の議案を審議、原案どおり可決しました。

### おもな議決事項

◎四十八年度一般会計決算は、歳入九億千八百九十九万七千四百、歳出八億七千三百九十九万六千九百二十九円。国民健康保険特別会計決算は歳入九千四百七十一万九千四百五十二円、歳出九千二百七十八万二千八百八十二円となりました。

◎今年度の一般会計に第三回目の補正予算として、一億八千三百九十三万円計上。これで同会計は、総予算額十一億九千九百九十三万円になりました。

今度の補正予算のおもな歳出は第二中学校校地取得費や社会福祉費、災害復旧費、人事院勧告による人件費などです。

◎富士川町上水道第二次拡張事業を約三億四千万円かけて、昭和五十年から五十四年度までの五年で計画しています。

この計画は、松野地区の人口急増や産業開発に伴ない、同地区の簡易水道と富士川地区の上水道を配水管で接続統合。また、木島地区に一日千五百リットル揚水可能な井戸をさく井し、千リットルの配水タンクも増設。その他配水管布設工事など、当町全体の飲料水確保対策です。

◎町職員の給与、町三役の給与、町議会議員の報酬などの条例が一部改正されました。

### イハラケミカル

#### 一〇〇〇万円寄付

イハラケミカル工業株式会社(望月喜多司社長)は、創業十周年を記念して、中央公民館建設資金にと、昨年十一月二十一日に一千万円を町に寄付しました。

町では、積立金として予算化し同事業に使います。

### いこの家に

#### ベンチを寄付

当町出身のO氏は、老人いこの家「小車荘」に木製ベンチ三個を、このほど寄付しました。

同じいこの家は、富士山の見える静かな環境の南松野八幡神社境内に建てられています。

半年ほど前に所用で帰郷したO氏は、同じいこの家の前庭から見る景色に感服。このうえベンチがあつて、坐つてくつろげれば、なお情緒があると、長さ約三メートルベンチ三個を寄付しました。

この厚意に、同じいこの家を訪れるお年寄りも大変喜び、O氏の心づかいに感謝していました。

#### O氏の寄付したベンチ



### どんなことでも

#### 民生児童委員に相談を

地域社会の世話役として、日ごろから奉仕活動している民生児童

委員が、昨年の十二月一日に改選され、町内で二十二人の人たちが厚生大臣から任命されました。

地域の中から選ばれた同委員は向こう三年間住民の悩みごとの指導を行ないます。

どんな小さな問題でも、個人のプライバシーを侵害することはありませぬから、次の委員に相談してください。(敬称略)

## 五年年金 二月から

### 月額9288円支給

今年の二月から五年年金の加入者で、満六十五歳になった人に老齢年金が支給されます。月額九千二百八十八円(二・五・八・十一月の各月に三ヶ月分まとめて支払われます)。

該当者はすでに、昨年十二月の下旬に手続きを済ませたと思ひますが、まだ済んでいない人は印鑑を持って役場住民課へお出掛けください。該当者は六十三人です。

また、再開五年年金に加入している人にも七月から支給されることになっていて、支払い額は五年年金と同じです。該当者は約百五十年年金制度は、昭和三十六年

に年金制度が発足したとき、すでに高齢になっていて二十五年の掛金の対象にならない人たちに、有利な拠出制年金が受けられるよう加入期間を五年に短縮したもので昭和四十五年から行なわれていました。したがって、昨年の十二月で五年間の保険料が納め終り、今回の支給になったわけです。

なお、昭和三十六年から年金に加入していた人たちは、すでに六十五歳以上(特例として六十歳以上にも)になったお年寄りには、老齢年金(俗にいう十年年金)が支払われています。現在当町ではこの該当者が二百六十人あります

# 100歳を迎えた二小 地区をあげて祝う



思い出いっぱい 二小100年祭

昭和七年に興仁舎として創設された町立第二小学校(横山文彦校長)が、昨年で百年目を迎えました。十一月二十三日には父兄、卒業生。そして教べんをとった先輩教諭、町関係者ら五百人が集まり記念式典や児童の発表会などが催され、開校百年を祝いました。

当初は、わずか三学級の木造校舎でしたが、現在は十四学級の鉄筋コンクリート三階建ての理想的な環境。これまでに六千五百四十五人が卒業しています。

式典会場の第二公民館には、明治、大正、昭和の三代の卒業生、歴代の校長や先輩教諭、地区民五百人が集まり来賓の祝辞や校長のあいさつ。続いて卒業生代表がそれぞれの時代の思い出、当時の学校生活についてなつかしそに語りました。

そして、三十余年に渡って用務員を続けていた小林タカさん。修学旅行のときに必ず児童を訪れ、記念アルバムを贈り続けた手島章さん、長年校医として貢献していた秀村敏朗さんの三

人に学校長から記念品と感謝状が贈られました。この後「うたごよみ百年」「げき、懐古百年」が児童たちにより繰り広げられ、次々に登場する思いの場面に会場と舞台はひとつになり。老人たちも孫が演じるなつかしい歌や当時の風俗に感激していました。

校舎には明治、大正、昭和の昔を語るなつかしい資料が展示されていました。明治二十四年の風琴(オルガン)、明治七年の小学読本など、父兄が寄付したのもや答

## 原田教育長

### 勲五等双光旭日章授賞

政治、経済、教育、福祉など、各分野にわたって長年献身的な努力を続けた人たちに贈られる、秋の生存者叙勲は、昨年の十一月三日の文化の日発表されました。

当町からは、教育文化発展に尽くした功績が認められて、現教育長の原田良之輔氏(七十二歳)が勲五等双光旭日章を授賞しました。

同氏は、明治三十四年十二月二十六日、原田幸太郎氏の長男として蒲原町蒲原千七百七番地で出生。大正九年に静岡師範学校卒業。同年に教員として蒲原尋常高等小学校へ勤務。

辞、送辞、成績表など貴重な資料約五百点が飾られ、訪れた人たちの郷愁を誘っていました。校舎の横には、PTAが協力して仕上げた岩石園が除幕。富士川の台地にふさわしい「柱状節理」の玄武岩による庭や、富士川上流から下流に散在する岩や石が集められ展示されていました。

同地区は、現在住宅増の傾向にあり、同校もこれに平衡してさらに発展。これからも、過去百年の伝統のもとで真の教育がなされて行くことでしょう。

その後、三十一歳の若さで、昭和八年に入山尋常小学校の校長に抜擢され、蒲原西小学校長を最後に、昭和三十年三月退職するまで教職員として勤続三十五年、そのうち校長職二十二年に渡り初等教育に専念しました。昭和三十一年から現在までの約二十年間は、当町の教育長として地方教育行政に敏腕をふるっています。

このたび、これらの功績が認められて内閣総理大臣から勲五等双光旭日章が贈られたものです。なお同氏は、過去に、富士川町長より教育文化功労章など、多くの表彰を受けています。

## 毎日育英会が 奨学生募集

毎日新聞社が設けている毎日育英会では、大学や短大、各種学校に進学する学生を対象に、昭和五十年度の奨学生を募集しています。

この育英会は、奨学生に学食費、住居など一切をお世話する制度ですが、その代りに新聞業務の一部である朝・夕刊の配達をしていただくことが条件です。卒業後の学資の返済は必要ありません。ご希望の者は、次のところへハガキで申込みください。詳細が返送されます。

- 毎日新聞社西大久保四一七
- 毎日新聞社早稲田別館内
- 毎日育英会事務局
- TEL 03 二〇九一七一一
- 三種混合第一期予防接種
- 【富士川地区】
- 1月21日 13:30~14:30
- 老人福祉センター
- 【松野地区】
- 1月22日 13:30~14:30
- 老人いこいの家

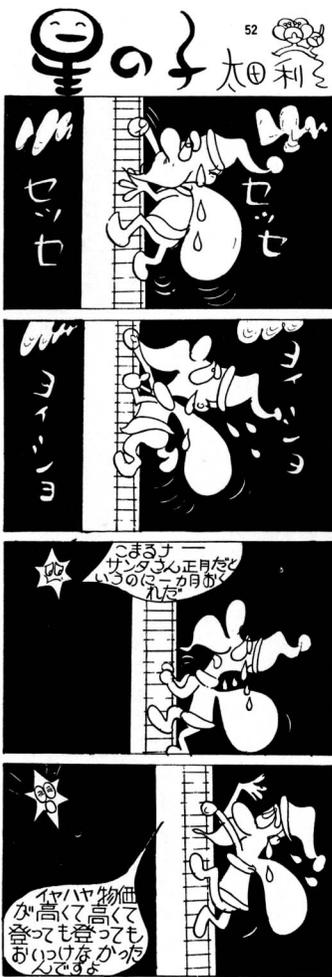
該当者、48年4月2日~49年9月1日までに生まれた幼児。  
◎ 今月の納税  
町県民税 第四期分  
一月三十一日までに町内の各銀行か農協に納税しましょう。

## 若月光枝ちゃんら 三人に館長賞

三・四・五歳児の絵画作品審査会が昨年の十一月十四日、宇多利児童館で開かれ、町内の三幼稚園四保育園から出品された二百六十一一点の作品を慎重に審査した結果五十五人の子どもたちが館長賞や特選に選ばれました。

今回で五回目を数える町幼児画コンクールは、すっかり定着。審査員の渡辺清先生は「今年は出品点数も多く、よい作品も沢山出ていた」と話していました。

【三歳児の部】  
館長賞 若月光枝(岩淵保)  
特選 菅原陽子(松千代保) 石川剛 刈谷日出年 赤堀悦子 安本明子(さくら台保) 大久保ひろ文 若月きよの(本通保)



【四歳児の部】  
館長賞 小林博(松千代保)  
児童館運営委員長賞 古谷恵美子(岩淵保)

特選 木伏克哉(松千代保) 五味正樹 関延典子(さくら台幼) 大榎央樹(本通保) 小泉文男 長島由佳 佐野育美(岩淵保) 森山一典 齊藤ちひろ(一幼) 武下公一 望月友美(二幼)

【五歳児の部】  
館長賞 原嘉彦(一幼)  
児童館運営委員長賞 大久保徳重(さくら台幼)

特選 久保田高典(松千代保) 山脇三枝(さくら台幼) 岡野ゆり子 渡辺とも子(岩淵保) 花

環境に申し分のない研修の場「静岡庵地区青少年野外センター」が、昨年の十一月十七日に完成。

ハイキングコースと知られる浜石岳中腹、三保の松原から伊豆半島や駿河湾を一望のもとに見渡せ。

正面には富士山。浜石岳山頂まではハイキングコースで約四十分、緑の木々に囲まれた三本松に同センターが建設されました。

田孝英 長谷川美和 長島由紀 (一幼) 二平伸史(二幼)

## 二回戦で敗退

一小区父親ソフトチーム

第五回静岡県父親ソフトボール

## 通信員たち

施設用地は三万三千平方メートル。この広大な台地に百二十人収容の宿泊棟。三十二人収容の研修棟。それに炊事棟二カ所、キャンプ場やスポーツ広場も造成された施設です。自然に親しむ機会が日毎に少なくなりつつある青少年たちを大自然の中で楽しい集団宿泊生活や野外活動におおいに利用し町民に親しみある野外活動センターにしたいものです。(南松野 小林英樹通信員)

大会は、昨年の十一月二十三日、静岡市駿府球場で決勝トーナメントが開かれました。

当町から、第一小学校区チームが代表として、野沢誉富さん(本通三)をキャプテンにラインが張切つて出場。一回戦を勝ち進み二回戦の裾野市オール深良小学校区と対戦しましたが、惜しくも八対一で敗退しました。

しかし同小学校区は、一昨年度大会で優勝している実績があり、県下でも名の知れている強豪です。野沢キャプテンは「今年以上の練習をつんで来年がんばろう」と早くもナインの気持を引締めています。

## 蒲原町商工会で 求職者の出張相談

清水公共職業安定所は、今月から、毎月十日と二十五日の午前十時から午後三時までの間、蒲原町商工会で求職・求人などの出張サービス相談を開きますので、お気軽におでかけください。

なお、当日が日曜・祭日のときは翌日。土曜日のときは月曜日に開きます。

## 成人式

とき 1月15日 9時~  
ところ 第1小学校体育館  
「祝成人」 駅伝大会  
とき 1月15日 11時~  
ところ 役場前

心配ごととは気軽に  
総合相談所を  
ご利用ください

- ・ 1月20日(月) 9時半~3時
- ・ 老人福祉センター

# 戸籍の窓

49・11・20～12・19 (敬称略)

## おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
堺町	布施 啓太	幸男	三男
四十九	若月 久実	正年	長女
〃	大村 尚之	仁	長男
宮町	塩坂 忠義	英機	〃
〃	望月 久史	敏男	〃
〃	若松志緒子	良治	二女
幸町	望月 啓二	敏夫	二男
〃	野沢 幸代	久好	長女

## よろこび

区名	新郎	新婦	旧姓
小山	芦川 豊	和子	宇佐美
上町	大野 卓美	佐子	吉田
坂下	斉藤 正憲	菊子	遠藤
宮町	亀井 文雄	恵美子	田村

## おしあわせに

区名	氏名	転出先
木島	芦川真生子	静岡市
〃	角替 順子	愛知県
〃	松下 秀子	沼津市
相生町	望月 令子	東京都
上町	大村 容子	由比町
堺町	佐野 文子	清水市
四十九	石川 晴代	富士市
〃	深沢 依子	〃
〃	渡辺 文枝	〃

## かなしみ

区名	氏名	年齢
堺町	久保田るい	七四
〃	若月徳次郎	五七
川坂	小笠原昌行	四七
新町	長谷川松市	六七
幸町	小林シユン	七五
南町	佐野 文代	四一
盛下町	高岡 クニ	七五

# 火の守り神 火伏地蔵

## 新豊院本堂前に遷座

曹洞宗新豊院(篠田弥天住職)

は、愛宕山山頂に残されていた火の守り神「火伏地蔵」を、昨年九月一日に同寺境内に移し開眼供養

また、初めてのお祭りは十二月一日に行ないました。なお、今年からは毎年十一月二十三日に、そのお祭りを開くことになりました。

た石の仏さまです。

今から二百十五年前の宝暦九年(一七五九年、江戸中期)に飛脚問屋だった、上町の三度屋富利という人が建立したもので、同院十二世の印宗道宝大和尚が開眼供養した地蔵尊です。

地蔵の中でも火伏地蔵は珍しいものとされ、土地の人たちからは火の守り神、また人生の苦難、願いごとを祈る地蔵として親しまれ

てきました。高さは約二ダの立派な石づくりです。

しかし、愛宕山までは山道で約二きもあり、老人たち信奉者のお参りが困難なため、九月一日に丸山彦之助檀家総代らの手によって本堂前に遷座し、開眼供養しました。

十二月一日には、同地蔵が火の守り神として住民に親しまれてきたため、火災予防運動期間中のこの日に初めてのお祭りが行なわれました。

また、今年からは、毎年火災予防運動の前日の十一



遷座された火伏地蔵尊

# 富士川短歌会

八月詠草

天野 寛選

君が窓もるる灯にひとひらの白き山茶花わが靴に散る

新町四十九 八月 弘子

掃き寄する落葉の陰より沢蟹は我に向いて爪あけて出づ

上町 植松 法子

つなぐ手を払い駆け出すかたちにて坂道に濃きおさな子の影

相生町 長谷川ゆり子

唐松続く甲斐の国過ぐ

新町四十九 村山 越子

乾きたらぬ洗濯ものを入れしままのこたつに友を招き入れたら

宮町 池田 てい

つま立ちて吾がはおりてもなお餘る子供のコート肩凝らせ縫う

新町四十九 塩川 恒子

山林のなびかう下草刈り行けばせんぶりの花地に這いて咲く

旭町 吉田 令子

舶来と印刷のあるコート地の毛足の長きをもてあましつ

宮町 若月 幸江

あたたかき冬日照りたるせせらぎに転げし蜜柑赤し六つ五つ

宮町 萩野 敏音

部屋内に機糸ひるげし箆に通す祖母は若かりき戦後の世なりき